

明治後期の口語体と文語体の研究： 国定教科書と新聞の文末辞を中心に

メタデータ	言語: Japanese 出版者: 公開日: 2017-11-22 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 杉崎, 夏夫 メールアドレス: 所属:
URL	https://mu.repo.nii.ac.jp/records/661

明治後期の口語体と文語体の研究

—国定教科書と新聞の文末辞を中心に—

A Study of Spoken and Written Japanese Language Styles in Late Meiji Era :
Focusing on Sentence-final Functional Morphemes in Newspapers and Government-designated Textbooks

杉崎 夏夫^{*}
SUGISAKI Natsuo

1.

これまでに新聞の記事を中心に、明治8年から明治17年の10年間について調査・研究し、その文体の推移を考察してきた。その一部は既に報告している⁽¹⁾。しかし、これは明治前期の頃の研究であったため、明治時代後期を含めた全体の変遷を明らかにすることは出来ていない。明治前期は、まだ学制の公布（明治5年）から間もない頃で、国定教科書ですら本格的な刊行が行われておらず、標準語もまだその形を模索していた時期であったため、明治前期の時期だけではその変遷を知ることはできなかった。しかし、この明治初期の新聞にも様々な表記における変化があり、それらの変遷を明らかにしてきた。

しかし、明治前期と明治後期では社会状況は大きく異なり、その中で新聞記事の表記形式もさらに大きく変化していると考えられる。本稿ではそうした表記の変化に着目し、これまでの明治前期の研究の成果を踏まえた上で、明治後期の新聞の表記について調査を行う。言文一致の特色は文章が段階的に口語化していくが、特に文末にその特徴が現れるため、文末表現（文末辞）を中心に、標準語や国定教科書と新聞の表記の関係を論じていきたいと考える。

2.

本稿では、先に調査を行っている『読売新聞』の「新聞欄」以外の小見出し欄を調査対象とし、各小見出し欄に書かれる記事ごとの文末表現を調査した。また、研究対象をこれまでに扱っていなかった明治20年から40年代前期においた。一方、具体的な調査は作業量の問題も考慮し、調査する対象年度を明治23年から5年ごととし、該当する年度の1月、4月、10月の新聞記事を小見出し欄ごとに分け、それぞれについてどんな文末表現が用いられているのかを調べた。さらに各小見出し欄の文末表現の使用回数を記録し、図表に整理しまとめた（表Ⅱ①～⑤）。各小見

^{*} 武蔵野大学文学部

出し欄に書かれている文末表現の使用総数も、表中の使用回数の横にカッコ書きで示した。また、これらの文末表現の使用が、明治23年から43年へと時代が進むにつれてどのように変化するかを、調査結果より推察した。さらに、各小見出し欄における標準語が、その各文末表現の総数に対してどのくらいの割合を示しているのかを、双方を比較してその使用率を算出した。また、表中にゴチック体で示した小見出し欄は、内容が小説であったものである。

なお、本稿では文末の判断基準を次のようにした。第一に「。」直前の語句のもの。第二に「。」はついていなくとも段落が変わる直前の部分。第三に「▲」で文が始まり、次の「▲」の文が始まる直前の部分、あるいは「▲」で文が始まり、次に続く文がない場合、空白部分の直前を文末と見なした。また、文末として見なさないものは次の通りである。今回の調査では、和歌の文末は文末表現として扱わなかった。また、列挙や箇条書きで書かれたものは、複数個の表現が並列に並ぶため、これらは文末が略されることが多いことから特別な使用例と扱い、正常な表現からは除外した。

これまでの、明治8年から10年間の『読売新聞』の文体の推移を研究した結果では、各小見出し欄に書かれる内容によって、文末表現が談話体（口語体）と文語体とは異なることが分かっている⁽¹⁾。読売新聞のような小新聞は、明治8年には既に「～ござり（い）ます」等の談話体で書かれた記事もみられるが、それは標準語が普及していると言う事ではなく、標準語の母胎となる中流階級以上のインテリ層の山の手ことばが反映されていたと考えるべきである。その後の明治10年以降は、新聞の政党新聞化が起り、大新聞は勿論、娯楽中心であった小新聞でも政治記事を重視するようになるため、更に文語体表記が増える傾向になる。そして明治15年以降は政党第一主義から外れ、各新聞とも大衆的中立新聞になっていくが、この時期になっても新聞の表記は、口語体と文語体が揺り返しながら徐々に言文一致体化（口語体化）していく。そのため、その後の明治23年から43年においても、記事内容によって文末表現が異なっていることが予想できる。本稿でもその点の検証を行いたいと考えたが、しかし、明治23年頃からの新聞記事では、時代が進むにつれて、明治8年から明治17年頃のような、一つの小見出し欄に対して一つの内容といった形が崩れていく。たとえば一つの小見出し欄の記事が、次の小見出し欄が新たに設定されることなく、前の小見出し欄とは全く異なる内容の記事が続いて書かれていくというようなことが見られる。また、一つの小見出し欄の文章量そのものも増加する傾向がある。これまでは、記事の内容ごとの文末表現の特徴を捉えることを目的としてきたため、こうした新聞記事は、一つの小見出し欄として扱ってきた。その際、特に小見出し欄がない新聞記事の場合は「その他」として扱った。しかし、本稿で扱う新聞記事は、このような理由により、小見出し欄単位で捉えていくことが難しくなった。また、明治初期は、標準語の制定や標準語教育の開始以前で、国定教科書すら定まっていない時期であり、したがって言文一致の動きが盛んな頃でもあったので、口語体と文語体の表記というものが、新聞の小見出し欄の内容によってどちらも現れていることが分かっている。

そこで先ず、標準語と国定教科書との関係について考察する。明治36年には第一期『尋常小学読本』（全8巻）が刊行されており、その編纂趣意書には規範語（標準語）は国定読本で規定されると書かれている。また、こうした国定読本（教科書）を製作する際には教科図書調査会が設定され、この委員会で公的に標準語の使用が可決されている。このように、この時期になると

学校での標準語教育も始まり、言文一致の意識も広く一般に受け入れられた時期となり、標準語が日本社会に定着していくのが、この明治後期であると考えられる。

したがって、今回は各小見出し欄の文末表現が、どのようなものであるかといった文末表現の種類ではなく、標準語の使用に着目し、その各小見出し欄の全文末表現中における、標準語の文末辞の割合を調べ、その使用率を明らかにすることで標準語の普及を判断することにした。更に標準語の制定や標準語教育の影響が、新聞の小見出し欄にどのように現れているかを究明したいと考えた。

先ず政府が定める標準語を、国立国語研究所編『国定読本用語総覧第12巻』⁽²⁾を参照し確認した。『国定読本用語総覧』とは、明治期から標準語を普及させるために学校教育で用いられている国定読本をもとに、その中で使われた用語を解説した資料である。この資料は全12巻で構成され、第1巻から第11巻は、各々の国定読本に登場する用語を詳細に解説しており、第12巻は、明治37年から昭和24年までの国定読本で使われた全用語のリスト化が図られている。リストの項目は、各見出し語とそれぞれに対して漢字表記、品詞、何期の国定読本に何回登場したか、その使用回数である。また、見出し語の総数は320,080個であった。ここでは明治政府が、どのような文末表現を標準語として捉えているかを確認するためには、全用語が収録されている第12巻を用いるのが妥当であると判断した。文末表現は助動詞である場合が多いため、『国定読本用語総覧第12巻』に収録されている用語のうち、助動詞を取り上げ、次の表Iに示した。（表I参照）

本稿で扱っている時期に該当するのは、国定読本では第一期・第二期に当たる。だが表Iを見ると、その後の第3期から6期までを見ても、使用率の高い助動詞の種類はあまり変化がないが、昭和になるにつれて「～ます」「～です」「～た」等の使用例数が大幅に上がっている。また、特に第2期では「～なり」「～たり」「～ず」や「～そうろう」等の使用が多い傾向が見られる。この時期は日露戦争（明治37年）から第一次世界大戦（大正3年）に向かっている時代であることから、少なからずその影響もあって、この時期の国定読本には文語的な助動詞が特に多く登場していたのかと思われる。このように、国定読本が刊行され標準語教育が導入されてもおお標準語にゆれが生じており、標準語のあり方がしっかりと定まりきれていないことが窺える。

したがって、今回の調査では、新聞欄の各記事において標準語の文末が、どの程度採用されているのかを明らかにすることにした。そこで、表Iを標準語の判断基準とし、『読売新聞』記事を小見出し欄ごとに分け、各小見出し欄の記事ごとの文末辞の数を調査した。次に、各文末表現に対して標準語であるかを検討し、該当する語がいくつあったかを記録していった。なおゴチックで示したものは小見出し欄の内容が小説であったものである。明治39年尾崎紅葉の『多情多恨』での「である」調の完成以降、小説では言文一致体は一般的な表現になっていることから考えると、小説に用いられている文末表現が、その他の小見出し欄とは異なる可能性があるため表中ではゴチック体で示し、後に考察を行うこととする。

表 I

助動詞	第一期(M37)	第二期(M43)	第三期(T7)	第四期(S8)	第五期(S16)	第六期(S22)	計	備考
た	1008	1069	2977	5044	5217	5775	21090	
ます	1126	1075	1810	2757	3344	3848	13960	
だ	601	841	2081	3029	3186	3332	13068	
です	250	248	444	780	836	1326	3884	
なり	198	1081	451	167	202	22	2185	
う	87	108	272	432	439	658	1997	
れる	39	81	240	422	443	386	1611	
ん	143	134	153	239	265	407	1341	打消
たり	149	409	187	144	153	6	1045	完了
ず	44	421	147	146	110	8	876	
られる	13	31	87	167	188	146	632	
り	31	347	106	81	40	6	611	
ぬ	18	68	153	205	64	98	606	打消
き	22	284	130	91	49	7	583	
べし	37	277	62	59	61	9	505	
ん	18	191	83	85	109	5	491	意志推量
よう	13	18	52	90	104	165	442	
たい	14	22	52	78	96	158	420	
そうろう	24	163	124	22	43	0	376	
せる	10	37	57	88	62	88	342	
ごとし	17	143	63	24	24	2	309	
る	10	77	41	45	36	4	213	
らる	5	70	54	34	24	0	187	
ぬ	0	15	54	49	38	11	159	完了
けり	3	7	14	23	98	6	151	
らしい	*	1	11	36	27	38	113	
まい	6	13	25	13	13	13	83	
しむ	3	44	25	7	3	0	82	
たり	1	33	11	28	8	1	82	断定
させる	7	6	19	14	13	9	68	
たし	9	19	16	2	1	0	47	
す	0	18	5	6	16	1	46	
てる	0	0	2	0	5	28	35	
じゃ	0	0	0	20	10	1	31	
じ	0	8	2	8	9	0	27	
らん	0	3	5	9	9	0	26	
せたまう	1	9	4	4	7	0	25	
けん	0	2	3	4	10	3	22	
つ	0	5	4	4	6	1	20	
しめる	0	0	0	10	1	0	11	
させたまう	0	6	0	2	2	0	10	
まじ	1	6	0	1	1	0	9	
しめたまう	0	2	1	2	1	0	6	
さす	0	2	0	2	0	0	4	
ちやう	0	0	0	0	0	4	4	
れたまう	0	2	1	0	0	0	3	
ごと	0	0	0	0	2	0	2	
といでる	0	0	0	0	1	1	2	
たがる	0	0	0	*	0	1	1	
れはじめる	0	0	0	0	0	1	1	
んず	0	0	0	0	1	0	1	

3.

次に調査結果をまとめた表を示す。（表Ⅱ①～⑤参照）

これまでの表Ⅱ①～⑤に示した調査結果を概観すると、小見出し欄に書かれる新聞記事の内容と時代背景とは深く関係しており、さらに各記事中の文末表現にも表れていると考えられる。また、小見出し欄についても徐々に種類が増え、時代が進むにつれて文章量も増加する傾向があった。全体を俯瞰すると、各見出し欄の全文末表現に対する標準語の割合が大きいものと小さいものに分かれていた。そして、基本的に共通の小見出し欄である場合は、この割合が大きい小見出し欄はどの調査日であっても大きく、また逆に割合の小さなものはどの調査日であっても小さいことが分かった。特に割合が大きくなるものは表中にゴシック体で示したもので、この小見出し欄の内容は小説である。また、小説以外で（ゴシックで示されていないもので）割合が大きいものは、読者からの投稿記事や普段の出来事を取り上げた記事（生活面）が多く該当した。一方、政治に関係する記事は、各小見出し欄の全文末表現に対する割合が小さく、文末表現が文語体であることが多かった。こうした政治関係の記事で使われる文末表現は、「いう」「こと」「体言止め」等が多いようである。

表Ⅱ① 標準語の使用

年度	月日	小見出し	文末	使用率	年度	月日	小見出し	文末	使用率
明治23年	1月6日	読売新聞	17 (53)	32.1	明治28年	1月11日	社告	2 (2)	100
明治23年	1月10日	読売新聞	0 (1)	0	明治28年	1月11日	雑報	2 (40)	5
明治23年	1月10日	官令	0 (3)	0	明治28年	1月11日	小説	1 (19)	5.3
明治23年	1月10日	電報	1 (13)	7.7	明治28年	1月11日	小説	0 (5)	0
明治23年	1月10日	相場	1 (6)	16.7	明治28年	1月11日	商況	2 (8)	25
明治23年	1月10日	宮廷録事	12 (47)	25.5	明治28年	1月11日	雑報	8 (37)	21.6
明治23年	4月7日	読売新聞	4 (23)	17.4	明治28年	4月1日	読売新聞	0 (17)	0
明治23年	4月7日	宮廷録事	0 (1)	0	明治28年	4月1日	雑報	6 (71)	8.5
明治23年	4月7日	電報	12 (41)	29.3	明治28年	4月1日	小説	2 (47)	4.3
明治23年	4月11日	読売新聞	5 (14)	35.7	明治28年	4月5日	読売新聞	0 (6)	0
明治23年	4月11日	社告	0 (1)	0	明治28年	4月5日	雑報	2 (74)	2.7
明治23年	4月11日	電報	2 (39)	5.1	明治28年	4月5日	小説	2 (49)	4.1
明治23年	4月11日	相場	1 (4)	25	明治28年	4月5日	商況	0 (11)	0
明治23年	7月7日	読売新聞	5 (19)	26.3	明治28年	4月5日	雑報	5 (34)	14.7
明治23年	7月7日	電報	1 (18)	5.6	明治28年	4月5日	最新出版書	0 (4)	0
明治23年	7月7日	續撰學彙報	4 (12)	33.3	明治28年	7月1日	雑報	10 (33)	30.3
明治23年	7月7日	衆議院議員當撰者姓名	3 (12)	25	明治28年	7月1日	戦時小説	5 (16)	31.3
明治23年	7月11日	読売新聞	2 (13)	15.4	明治28年	7月1日	その他の記事	0 (12)	0
明治23年	7月11日	宮廷録事	0 (1)	0	明治28年	7月1日	その他の記事	0 (11)	0
明治23年	7月11日	電報	6 (47)	12.8	明治28年	7月1日	最新出版書	0 (28)	0
明治23年	7月11日	續撰學彙報	4 (12)	33.3	明治28年	7月1日	論説	1 (3)	33.3
明治23年	10月6日	読売新聞	16 (67)	23.9	明治28年	7月5日	雑報	1 (11)	9.1
明治23年	10月6日	官令	0 (2)	0	明治28年	7月5日	商況	0 (3)	3
明治23年	10月10日	読売新聞	0 (10)	0	明治28年	7月5日	笛吹川	4 (22)	18.2
明治23年	10月10日	官令	0 (6)	0	明治28年	7月5日	その他の記事	1 (20)	20
明治23年	10月10日	電報	16 (59)	27.1	明治28年	7月5日	その他の記事	3 (26)	11.5
明治23年	10月10日	相場	0 (1)	0	明治28年	7月5日	その他の記事	1 (16)	6.3
明治28年	1月7日	読売新聞	1 (2)	50	明治28年	7月5日	戦時小説	3 (8)	37.5
明治28年	1月7日	社告	0 (3)	0	明治28年	10月7日	雑報	8 (25)	32
明治28年	1月7日	論説	0 (5)	0	明治28年	10月7日	雑報	1 (12)	8.3
明治28年	1月7日	雑報	2 (38)	5.3	明治28年	10月7日	雑報	4 (12)	33.3
明治28年	1月7日	小説	2 (23)	8.7	明治28年	10月7日	その他の記事	16 (48)	33.3
明治28年	1月7日	小説	0 (3)	0	明治28年	10月7日	電報	0 (2)	0
明治28年	1月11日	読売新聞	2 (9)	22.2	明治28年	10月7日	青葡萄	28 (35)	80

表Ⅱ② 標準語の使用

年度	月日	小見出し	文末	使用率	年度	月日	小見出し	文末	使用率
明治28年	10月7日	最新出版書	0(4)	0	明治33年	4月6日	社告	0(3)	0
明治28年	10月7日	露国事情	0(3)	0	明治33年	4月6日	東京市公文	0(0)	0
明治28年	10月11日	雑報	3(20)	15	明治33年	4月6日	商況	0(13)	0
明治28年	10月11日	商況	2(9)	22.2	明治33年	7月2日	雑報	4(20)	20
明治28年	10月11日	雑報	14(46)	30.4	明治33年	7月2日	雑報	9(49)	18.4
明治28年	10月11日	その他の記事	1(4)	25	明治33年	7月2日	よみうり抄	2(14)	14.3
明治28年	10月11日	電報	0(7)	0	明治33年	7月2日	葉書集	9(20)	45
明治28年	10月11日	青葡萄	29(29)	100	明治33年	7月2日	論説	2(4)	50
明治28年	10月11日	最新出版書	0(1)	0	明治33年	7月2日	雑報	0(4)	0
明治28年	10月11日	実談	0(2)	0	明治33年	7月2日	社告	0(3)	0
明治28年	10月11日	論説	0(4)	0	明治33年	7月2日	月曜畫集	0(5)	0
明治33年	1月1日	雑報	5(33)	15.2	明治33年	7月2日	口演百譚	1(1)	100
明治33年	1月1日	一月一日	4(5)	80	明治33年	7月2日	夏の花東	5(8)	62.5
明治33年	1月1日	よみうり抄	0(5)	0	明治33年	7月2日	茶ばなし	11(12)	91.7
明治33年	1月1日	葉書集	9(11)	81.8	明治33年	7月2日	夢の夢	16(18)	88.9
明治33年	1月1日	その他の記事	1(9)	11.1	明治33年	7月2日	巴里の俗風	0(35)	0
明治33年	1月1日	家庭の教育	4(24)	16.7	明治33年	7月2日	なかだち	0(6)	0
明治33年	1月1日	當撰小説	30(32)	93.8	明治33年	7月2日	峽江紀行	2(2)	100
明治33年	1月1日	諸国雑煮	0(6)	0	明治33年	7月6日	雑報	4(59)	6.8
明治33年	1月1日	寒牡丹	13(19)	68.4	明治33年	7月6日	論説	0(4)	0
明治33年	1月1日	寄書	0(26)	0	明治33年	7月6日	よみうり抄	2(6)	33.3
明治33年	1月5日	雑報	1(27)	3.7	明治33年	7月6日	葉書集	6(8)	75
明治33年	1月5日	電報	0(0)	0	明治33年	7月6日	宮廷録事	1(3)	33.3
明治33年	1月5日	よみうり抄	0(3)	0	明治33年	7月6日	その他の記事	2(10)	20
明治33年	1月5日	宮廷録事	0(4)	0	明治33年	7月6日	その他の記事	2(22)	9.1
明治33年	1月5日	その他の記事	0(31)	0	明治33年	7月6日	會稽之夢	0(3)	0
明治33年	1月5日	その他の記事	2(7)	28.6	明治33年	7月6日	濡衣草子	0(9)	0
明治33年	1月5日	茶ばなし	6(8)	75	明治33年	7月6日	商況	1(10)	10
明治33年	1月5日	葉書集	5(6)	83.3	明治33年	7月6日	茶ばなし	7(7)	100
明治33年	1月5日	寒牡丹	27(33)	81.8	明治33年	7月6日	夢の夢	30(30)	100
明治33年	1月5日	家庭の教育	0(19)	0	明治33年	7月6日	百合	0(5)	0
明治33年	1月5日	二十世紀の法律	5(5)	100	明治33年	10月1日	雑報	0(3)	0
明治33年	1月5日	その他の記事	0(13)	0	明治33年	10月1日	論説	1(1)	100
明治33年	1月5日	諸国料理	0(2)	0	明治33年	10月1日	よみうり抄	0(6)	0
明治33年	1月5日	口演百譚	1(1)	100	明治33年	10月1日	葉書集	9(9)	100
明治33年	1月5日	商況	0(14)	0	明治33年	10月1日	宮廷録事	0(5)	0
明治33年	4月2日	雑報	0(10)	0	明治33年	10月1日	その他の記事	2(12)	16.7
明治33年	4月2日	電報	0(12)	0	明治33年	10月1日	雑報	0(1)	0
明治33年	4月2日	よみうり抄	0(5)	0	明治33年	10月1日	思いつき	10(10)	100
明治33年	4月2日	葉書集	5(7)	71.4	明治33年	10月1日	その他の記事	3(5)	60
明治33年	4月2日	その他の記事	0(2)	0	明治33年	10月1日	その他の記事	3(10)	30
明治33年	4月2日	その他の記事	3(14)	21.4	明治33年	10月1日	茶ばなし	19(24)	79.2
明治33年	4月2日	社告	0(3)	0	明治33年	10月1日	道行の巻	0(6)	0
明治33年	4月2日	雑報	0(16)	0	明治33年	10月1日	雑報	0(13)	0
明治33年	4月2日	論説	0(3)	0	明治33年	10月5日	雑報	1(16)	6.3
明治33年	4月2日	湯ばなし	5(6)	83.3	明治33年	10月5日	論説	0(3)	0
明治33年	4月2日	梅若大祭能評	1(1)	100	明治33年	10月5日	よみうり抄	0(4)	0
明治33年	4月2日	東京市公文	0(10)	0	明治33年	10月5日	電報	0(2)	0
明治33年	4月2日	富士の牧狩	0(7)	0	明治33年	10月5日	雑報	0(17)	0
明治33年	4月2日	富士の牧狩	2(16)	12.5	明治33年	10月5日	横浜市場	0(3)	0
明治33年	4月2日	懸賞小説應募披露	0(3)	0	明治33年	10月5日	海外経済界	1(6)	16.7
明治33年	4月6日	雑報	1(21)	4.8	明治33年	10月5日	七首	16(28)	57.1
明治33年	4月6日	電報	0(7)	0	明治33年	10月5日	商況	0(1)	0
明治33年	4月6日	よみうり抄	3(19)	15.8	明治33年	10月5日	宮廷録事	0(3)	0
明治33年	4月6日	葉書集	7(7)	100	明治33年	10月5日	市政雑事	1(5)	20
明治33年	4月6日	論説	0(5)	0	明治33年	10月5日	その他の記事	2(3)	66.7
明治33年	4月6日	その他の記事	2(15)	13.3	明治33年	10月5日	我山禪師逸話	0(2)	0
明治33年	4月6日	社告	0(1)	0	明治33年	10月5日	雲のゆくえ	46(46)	100
明治33年	4月6日	雑報	8(21)	38.1	明治33年	10月5日	思いつき	10(10)	100
明治33年	4月6日	寒牡丹	26(28)	92.9	明治33年	10月5日	先生	0(3)	0
明治33年	4月6日	家庭の教育	2(14)	14.3	明治33年	10月5日	浮名の巻	0(7)	0

表Ⅱ③ 標準語の使用

年度	月日	小見出し	文末	使用率	年度	月日	小見出し	文末	使用率
明治33年	10月5日	その他の記事	4 (12)	33.3	明治38年	4月7日	伯林電報	0 (2)	0
明治33年	10月5日	葉書集	0 (5)	0	明治38年	4月7日	その他の記事	0 (25)	0
明治33年	10月5日	商取引記事	0 (11)	0	明治38年	4月7日	隣の噂	1 (3)	33.3
明治38年	1月2日	八面観	12 (19)	63.2	明治38年	4月7日	社告	9 (10)	90
明治38年	1月2日	欧文小説	2 (2)	100	明治38年	4月7日	そぞろ事	2 (19)	10.5
明治38年	1月2日	初日の出	52 (57)	91.2	明治38年	4月7日	その他の記事	3 (15)	20
明治38年	1月2日	論説	2 (4)	50	明治38年	4月7日	編集日誌	0 (1)	0
明治38年	1月2日	倫敦電報	2 (2)	100	明治38年	4月7日	その他の記事	0 (10)	0
明治38年	1月2日	宮廷録事	0 (3)	0	明治38年	4月7日	東京定期市場	0 (6)	0
明治38年	1月2日	その他の記事	2 (40)	5	明治38年	4月7日	横浜商況	0 (5)	0
明治38年	1月2日	橘英雄	24 (29)	82.8	明治38年	4月7日	倫敦電報	1 (2)	50
明治38年	1月2日	巳年の玩具	5 (5)	100	明治38年	4月7日	その他の記事	4 (21)	19
明治38年	1月2日	その他の記事	0 (13)	0	明治38年	4月7日	東京定期市場	0 (4)	0
明治38年	1月2日	編集日誌	2 (3)	66.7	明治38年	4月7日	各地期半電話	0 (3)	0
明治38年	1月2日	梅花	3 (47)	6.4	明治38年	4月7日	横浜商況	0 (5)	0
明治38年	1月2日	日本における蛇	0 (5)	0	明治38年	7月3日	教界月旦	1 (5)	20
明治38年	1月2日	地価修正	5 (6)	83.3	明治38年	7月3日	別天邸	0 (7)	0
明治38年	1月2日	文学上に表れる蛇	0 (5)	0	明治38年	7月3日	大統領邸に招かれる	3 (3)	100
明治38年	1月2日	川柳	2 (7)	28.6	明治38年	7月3日	よみうり抄	0 (5)	0
明治38年	1月6日	八面観	6 (7)	85.7	明治38年	7月3日	青春	21 (21)	100
明治38年	1月6日	よみうり抄	0 (5)	0	明治38年	7月3日	読売新聞	0 (5)	0
明治38年	1月6日	奇人百種	6 (6)	100	明治38年	7月3日	京城電報	0 (1)	0
明治38年	1月6日	出版界	0 (2)	0	明治38年	7月3日	宮廷記事	0 (1)	0
明治38年	1月6日	世論一般	0 (4)	0	明治38年	7月3日	隣の噂	5 (6)	83.3
明治38年	1月6日	欧文小説	0 (1)	0	明治38年	7月3日	その他の記事	4 (12)	33.3
明治38年	1月6日	学生生活	6 (13)	46.2	明治38年	7月3日	おのぶ	0 (1)	0
明治38年	1月6日	その他の記事	2 (2)	100	明治38年	7月3日	すずみ壺	1 (1)	100
明治38年	1月6日	倫敦電報	0 (3)	0	明治38年	7月3日	その他の記事	0 (6)	0
明治38年	1月6日	伯林電報	0 (5)	0	明治38年	7月3日	編集日誌	1 (1)	100
明治38年	1月6日	その他の記事	9 (29)	31	明治38年	7月3日	小供の新聞	5 (8)	62.5
明治38年	1月6日	イロハ便り	0 (7)	0	明治38年	7月3日	葉書集	2 (7)	28.6
明治38年	1月6日	橘英雄	8 (10)	80	明治38年	7月3日	その他の記事	6 (24)	25
明治38年	1月6日	その他の記事	2 (55)	3.6	明治38年	7月7日	教界月旦	0 (1)	0
明治38年	1月6日	編集日誌	2 (2)	100	明治38年	7月7日	よみうり抄	0 (8)	0
明治38年	1月6日	その他の記事	0 (5)	0	明治38年	7月7日	新着??	0 (4)	0
明治38年	1月6日	東京定期市場	0 (5)	0	明治38年	7月7日	欧文小説	0 (3)	0
明治38年	4月3日	豫告	1 (14)	7.1	明治38年	7月7日	青春	5 (16)	31.3
明治38年	4月3日	八面観	1 (2)	50	明治38年	7月7日	社告	0 (4)	0
明治38年	4月3日	よみうり抄	0 (5)	0	明治38年	7月7日	論説	0 (5)	0
明治38年	4月3日	欧文小説	0 (3)	0	明治38年	7月7日	倫敦電報	0 (14)	0
明治38年	4月3日	青春	15 (16)	93.8	明治38年	7月7日	京城電報	0 (2)	0
明治38年	4月3日	社告	0 (1)	0	明治38年	7月7日	宮廷記事	0 (6)	0
明治38年	4月3日	論説	0 (2)	0	明治38年	7月7日	その他の記事	1 (12)	8.3
明治38年	4月3日	倫敦電報	1 (7)	14.3	明治38年	7月7日	隣の噂	4 (4)	100
明治38年	4月3日	その他の記事	4 (21)	19	明治38年	7月7日	イロ便	0 (6)	0
明治38年	4月3日	隣の噂	5 (5)	100	明治38年	7月7日	その他の記事	8 (13)	61.5
明治38年	4月3日	蛇の足	3 (6)	50	明治38年	7月7日	おのぶ	0 (1)	0
明治38年	4月3日	社告	1 (8)	12.5	明治38年	7月7日	その他の記事	0 (6)	0
明治38年	4月3日	喰せもの	10 (11)	90.9	明治38年	7月7日	すずみ壺	1 (2)	50
明治38年	4月3日	その他の記事	3 (16)	18.8	明治38年	7月7日	小供の新聞	10 (11)	90.9
明治38年	4月3日	へなぶり	2 (2)	100	明治38年	7月7日	定期市場	0 (4)	0
明治38年	4月3日	編集日誌	0 (2)	0	明治38年	7月7日	横浜商況	0 (2)	0
明治38年	4月7日	豫告	0 (16)	0	明治38年	7月7日	その他の記事	1 (7)	14.3
明治38年	4月7日	よみうり抄	0 (14)	0	明治38年	7月7日	五面談叢	6 (9)	66.7
明治38年	4月7日	奇人百種	1 (1)	100	明治38年	7月7日	昨日の新聞雑談	0 (10)	0
明治38年	4月7日	世論一般	1 (4)	25	明治38年	7月7日	定期市場	0 (8)	0
明治38年	4月7日	欧文小説	3 (4)	75	明治38年	7月7日	葉書集	4 (5)	80
明治38年	4月7日	青春	26 (32)	81.3	明治38年	10月2日	社会主義評論	1 (10)	10
明治38年	4月7日	社告	0 (1)	0	明治38年	10月2日	よみうり抄	0 (4)	0
明治38年	4月7日	読売新聞	0 (4)	0	明治38年	10月2日	昨日の新聞雑談	1 (11)	9.1
明治38年	4月7日	倫敦電報	0 (2)	0	明治38年	10月2日	青春	12 (12)	100

表Ⅱ④ 標準語の使用

年度	月日	小見出し	文末	使用率	年度	月日	小見出し	文末	使用率
明治38年	10月2日	読売新聞	0(4)	0	明治43年	1月7日	倫敦電報	0(1)	0
明治38年	10月2日	倫敦電報	0(3)	0	明治43年	1月7日	伯林電報	0(6)	0
明治38年	10月2日	伯林電報	0(5)	0	明治43年	1月7日	北京電報	0(2)	0
明治38年	10月2日	その他の記事	4(18)	22.2	明治43年	1月7日	京城電報	0(2)	0
明治38年	10月2日	検問所問答	0(1)	0	明治43年	1月7日	内地電報	0(3)	0
明治38年	10月2日	いっ便	0(9)	0	明治43年	1月7日	宮廷録事	0(1)	0
明治38年	10月2日	その他の記事	1(20)	5	明治43年	1月7日	その他の記事	8(31)	25.8
明治38年	10月2日	殿さま?魚さま	0(1)	0	明治43年	1月7日	隣の噂	3(4)	75
明治38年	10月2日	しなの記	0(9)	0	明治43年	1月7日	編輯室より	0(19)	0
明治38年	10月2日	人の心	8(9)	88.9	明治43年	1月7日	その他の記事	12(43)	27.9
明治38年	10月2日	編集日誌	1(1)	100	明治43年	1月7日	女子大学生生活	0(1)	0
明治38年	10月2日	葉書集	0(5)	0	明治43年	1月7日	編輯日記	1(1)	100
明治38年	10月6日	社会主義評論	0(7)	0	明治43年	1月7日	赤穂義主義	1(1)	100
明治38年	10月6日	よみうり抄	1(6)	16.7	明治43年	1月7日	業界の新発見	2(160)	1.3
明治38年	10月6日	読者の声	0(4)	0	明治43年	1月7日	よみうり抄	2(4)	50
明治38年	10月6日	白馬会展覧会	0(15)	0	明治43年	1月7日	文壇はなしたね	0(2)	0
明治38年	10月6日	嵐山行玉	1(3)	33.3	明治43年	1月7日	文学各方面	35(36)	97.2
明治38年	10月6日	読売新聞	0(5)	0	明治43年	1月7日	名士の信仰と娯楽	0(3)	0
明治38年	10月6日	倫敦電報	0(1)	0	明治43年	1月7日	雑誌摘録	3(3)	100
明治38年	10月6日	伯林電報	0(5)	0	明治43年	1月7日	田園の趣味	17(19)	89.5
明治38年	10月6日	その他の記事	2(17)	11.8	明治43年	1月7日	漢詩壇	0(0)	0
明治38年	10月6日	隣の噂	3(4)	75	明治43年	1月7日	小品文	19(19)	100
明治38年	10月6日	いっ便	0(8)	0	明治43年	1月7日	渡世修行	1(1)	100
明治38年	10月6日	その他の記事	6(20)	30	明治43年	1月7日	決闘	35(38)	92.1
明治38年	10月6日	人の心	5(13)	38.5	明治43年	1月7日	葉書集	3(5)	60
明治38年	10月6日	編集日誌	1(4)	25	明治43年	1月7日	定期市場	0(2)	0
明治38年	10月6日	その他の記事	1(7)	14.3	明治43年	1月7日	株式雑談	7(8)	87.5
明治38年	10月6日	定期市場	0(4)	0	明治43年	1月7日	米商	3(10)	30
明治38年	10月6日	横浜商況	0(1)	0	明治43年	1月7日	米高雑談	1(6)	16.7
明治38年	10月6日	その他の記事	3(22)	13.6	明治43年	1月7日	正米	1(1)	100
明治38年	10月6日	昨日の新聞雑談	6(14)	42.9	明治43年	1月7日	海外経済電報	0(4)	0
明治38年	10月6日	定期市場	0(7)	0	明治43年	1月7日	横浜市況	0(8)	0
明治38年	10月6日	各地電話	0(3)	0	明治43年	4月4日	論議	0(34)	0
明治38年	10月6日	葉書集	4(6)	66.7	明治43年	4月4日	新知識	0(1)	0
明治38年	10月6日	一口断	6(8)	75	明治43年	4月4日	京都特信	0(1)	0
明治38年	10月6日	京城電報	0(2)	0	明治43年	4月4日	家	29(32)	90.6
明治43年	1月3日	武士と高道	0(5)	0	明治43年	4月4日	宮廷録事	0(3)	0
明治43年	1月3日	教育問題の任務	31(39)	79.5	明治43年	4月4日	北京電報	0(5)	0
明治43年	1月3日	内地電報	0(4)	0	明治43年	4月4日	内地電報	1(17)	5.9
明治43年	1月3日	宮廷録事	0(2)	0	明治43年	4月4日	その他の記事	8(43)	18.6
明治43年	1月3日	その他の記事	1(9)	11.1	明治43年	4月4日	隣の噂	3(6)	50
明治43年	1月3日	隣の噂	5(5)	100	明治43年	4月4日	その他の記事	18(34)	52.9
明治43年	1月3日	アラビヤナイトの一節	2(122)	1.6	明治43年	4月4日	赤穂義主義	0(1)	0
明治43年	1月3日	家	42(45)	93.3	明治43年	4月8日	論議	0(3)	0
明治43年	1月3日	その他の記事	18(33)	54.5	明治43年	4月8日	編輯室より	0(5)	0
明治43年	1月3日	女子大学生生活	1(1)	100	明治43年	4月8日	新知識	1(2)	50
明治43年	1月3日	編集日誌	1(1)	100	明治43年	4月8日	家	33(34)	97.1
明治43年	1月3日	赤穂義士	1(1)	100	明治43年	4月8日	宮廷録事	2(4)	50
明治43年	1月3日	薩摩年人と士風	4(4)	100	明治43年	4月8日	倫敦電報	0(8)	0
明治43年	1月3日	確約と玩賞的評価	41(52)	78.8	明治43年	4月8日	伯林電報	0(5)	0
明治43年	1月3日	ふたつの心	28(28)	100	明治43年	4月8日	満州電報	0(1)	0
明治43年	1月3日	本年の農作	17(21)	81	明治43年	4月8日	内地電報	0(3)	0
明治43年	1月3日	その他の記事	22(22)	100	明治43年	4月8日	その他の記事	0(42)	0
明治43年	1月3日	決闘	1(3)	33.3	明治43年	4月8日	市政及府政	0(4)	0
明治43年	1月3日	歌人の品定め	1(1)	100	明治43年	4月8日	隣の噂	3(5)	60
明治43年	1月3日	南極探検の話	36(37)	97.3	明治43年	4月8日	その他の記事	0(6)	0
明治43年	1月3日	初春の渡し船	45(58)	77.6	明治43年	4月8日	新評林	0(0)	0
明治43年	1月3日	葉書集	1(5)	20	明治43年	4月8日	春のウツカ	9(11)	81.8
明治43年	1月7日	読売新聞	0(1)	0	明治43年	4月8日	その他の記事	3(35)	8.6
明治43年	1月7日	満州の仙境	2(2)	100	明治43年	4月8日	編集日誌	0(1)	0
明治43年	1月7日	家	35(42)	83.3	明治43年	4月8日	赤穂義主義	1(1)	100

表Ⅱ⑤ 標準語の使用

年度	月日	小見出し	文末	使用率	年度	月日	小見出し	文末	使用率
明治43年	4月8日	舊藩と新人物	5 (30)	16.7	明治43年	7月8日	趣味の消息	11 (11)	100
明治43年	4月8日	名士と旅	0 (1)	0	明治43年	7月8日	自転車の番號	1 (1)	100
明治43年	4月8日	宗教界	17 (17)	100	明治43年	7月8日	俳句と川柳	1 (1)	100
明治43年	4月8日	よみうり抄	0 (11)	0	明治43年	7月8日	小品文	7 (7)	100
明治43年	4月8日	教育満五語	14 (14)	100	明治43年	7月8日	はなしだね	13 (14)	92.9
明治43年	4月8日	米商	0 (1)	0	明治43年	7月8日	舊藩と新人物	2 (27)	7.4
明治43年	4月8日	お伽本小公子	42 (42)	100	明治43年	7月8日	松麗齋仙女	5 (7)	71.4
明治43年	4月8日	商工茶話	4 (11)	36.4	明治43年	7月8日	葉書集	5 (7)	71.4
明治43年	4月8日	株	2 (5)	40	明治43年	7月8日	株	0 (13)	0
明治43年	4月8日	米商	1 (8)	12.5	明治43年	7月8日	米商	0 (6)	0
明治43年	4月8日	囲碁手合	0 (1)	0	明治43年	7月8日	横浜商況	0 (4)	0
明治43年	4月8日	人格	14 (14)	100	明治43年	7月8日	八日の九星	0 (6)	0
明治43年	7月4日	横議十行	0 (7)	0	明治43年	10月3日	論議	4 (6)	66.7
明治43年	7月4日	京都特信	0 (3)	0	明治43年	10月3日	両派と儒生	8 (10)	80
明治43年	7月4日	木像	19 (19)	100	明治43年	10月3日	横議十行	0 (3)	0
明治43年	7月4日	婦人一生中に...	4 (6)	66.7	明治43年	10月3日	足あと	40 (40)	100
明治43年	7月4日	舊藩と新人物	5 (32)	15.6	明治43年	10月3日	宮廷録事	0 (3)	0
明治43年	7月4日	宮廷録事	0 (4)	0	明治43年	10月3日	倫敦電報	0 (10)	0
明治43年	7月4日	倫敦電報	0 (2)	0	明治43年	10月3日	米国電報	0 (1)	0
明治43年	7月4日	満州電報	0 (2)	0	明治43年	10月3日	北京電報	0 (1)	0
明治43年	7月4日	内地電報	0 (8)	0	明治43年	10月3日	満州電報	0 (4)	0
明治43年	7月4日	その他の記事	3 (46)	6.5	明治43年	10月3日	朝鮮電報	0 (2)	0
明治43年	7月4日	市政及府政	0 (3)	0	明治43年	10月3日	内地電報	0 (10)	0
明治43年	7月4日	隣の噂	6 (6)	100	明治43年	10月3日	その他の記事	1 (28)	3.6
明治43年	7月4日	南清遊記	0 (2)	0	明治43年	10月3日	市政及府政	0 (2)	0
明治43年	7月4日	その他の記事	2 (35)	5.7	明治43年	10月3日	朝鮮人物傳	0 (2)	0
明治43年	7月4日	三田	6 (6)	100	明治43年	10月3日	その他の記事	19 (42)	45.2
明治43年	7月4日	閑文字	0 (1)	0	明治43年	10月7日	論議	0 (4)	0
明治43年	7月4日	編集日誌	1 (2)	50	明治43年	10月7日	編輯室より	0 (9)	0
明治43年	7月4日	武士道銘々傳	1 (1)	100	明治43年	10月7日	足あと	34 (39)	87.2
明治43年	7月8日	論議	1 (15)	6.7	明治43年	10月7日	宮廷録事	0 (1)	0
明治43年	7月8日	横議十行	0 (7)	0	明治43年	10月7日	伯林電報	1 (5)	20
明治43年	7月8日	木像	25 (25)	100	明治43年	10月7日	北京電報	0 (3)	0
明治43年	7月8日	宮廷録事	0 (3)	0	明治43年	10月7日	朝鮮電報	0 (1)	0
明治43年	7月8日	倫敦電報	1 (6)	16.7	明治43年	10月7日	内地電報	0 (4)	0
明治43年	7月8日	伯林電報	0 (2)	0	明治43年	10月7日	その他の記事	1 (28)	3.6
明治43年	7月8日	米国電報	0 (1)	0	明治43年	10月7日	市政及府政	0 (2)	0
明治43年	7月8日	北京電報	0 (1)	0	明治43年	10月7日	その他の記事	22 (42)	52.4
明治43年	7月8日	内地電報	1 (2)	50	明治43年	10月7日	武士道銘々傳	0 (1)	0
明治43年	7月8日	その他の記事	3 (43)	7	明治43年	10月7日	七草の語源について	0 (44)	0
明治43年	7月8日	市政及府政	0 (3)	0	明治43年	10月7日	よみうり抄	1 (8)	12.5
明治43年	7月8日	新評林	0 (0)	0	明治43年	10月7日	文芸百方面	22 (24)	91.7
明治43年	7月8日	その他の記事	3 (36)	8.3	明治43年	10月7日	今月の雑誌	2 (2)	100
明治43年	7月8日	佃島と月島	4 (5)	80	明治43年	10月7日	現代美術論	1 (13)	7.7
明治43年	7月8日	武士道銘々傳	1 (1)	100	明治43年	10月7日	家庭	7 (7)	100
明治43年	7月8日	宗教界	7 (8)	87.5	明治43年	10月7日	趣味	21 (24)	87.5
明治43年	7月8日	漢詩壇	0 (0)	0	明治43年	10月7日	株	1 (11)	9.1
明治43年	7月8日	よみうり抄	1 (5)	20	明治43年	10月7日	米商	1 (6)	16.7

次に、全文末表現に対する標準語の割合が大きい小見出し欄（60%以上のもの）と、割合の小さい小見出し欄（20%以下のもの）を調べ、次の表Ⅲ①②に整理した（表Ⅲ①・②参照）。このように、これらの表中からも明らかだが、政治・社説・評論など、公的な報道に関する小見出し欄は口語的な文末の使用は低く、これは文語的な文末表現を用いることを示している。また、小説や生活に関わる小見出し欄は、口語的な文末の使用率が高く、標準語の表現が多いこと分かる。

これらの結果から、国定読本が制定され標準語教育が導入されてもなお、標準語の制定にはゆれが生じており、標準語のあり方がしっかりと定まりきれていないことが推測される。したがって新聞記事の場合は更に標準語化は進んでいないため、政治的記事等の文末表現には文語的なものが多く使用されている。すなわち、明治政府は政府が定めた標準語という枠組のなかで、標準語教育は始まっていたが、まだまだ広く一般に浸透してはならず、公文書等の表記はこれまで通り文語体が主であり、新聞もそれにならって政治的記事等は、文語体の表現で書いていたと考えられる。

次に、小説の表記についてであるが、本稿では、新聞の小見出し欄に掲載をされていることを前提として考える。当時の『読売新聞』に掲載される小説には、島崎藤村による「家」のように文学者が連載をもつ場合が多かった。このような小説は、明治23年の時点では、まだ小説そのものが新聞で扱われておらず、明治28年頃になるとやっと扱われるようになったものの、先の表Ⅲ①が示す通り、全文末表現に対する標準語の割合は小さく、まだまだ文語体の表現が主流であったといえる。ここで更に詳しく小説の表現を探るために、表Ⅱ①～⑤のデータから、小説の小見出し欄のみを抜き出してまとめたものが表Ⅳにである。（表Ⅳ参照）

表Ⅳより、明治28年では標準語の平均使用率が約26.3%と著しく低いが、明治33年には約81.0%、明治38年が約62.4%、明治43年には約88.6%と大幅に増加している。つまり小説では、明治33年にはほぼ標準語の使用が一般的になっていたと考えられる。小説の言文一致体は明治20年に二葉亭四迷や山田美妙らの言文一致小説が発表され世間の注目を浴びた。そしてその文末辞の特徴から二葉亭四迷の「だ体」、山田美妙の「です体」と言われた事は良く知られているが、明治20年代の小説に言文一致体が見られるようになり、約10年後には広く普及していることが確認できた。それは新聞に掲載される小説においても同様であり、新聞記事よりは早い時期に言文一致体（口語体）化していたことは、これらの数値の結果から見ても明らかである。

表Ⅲ① 標準語 使用率20%以下（0%除く）

年度	月日	小見出し	文末	使用率	年度	月日	小見出し	文末	使用率
明治43年	1月7日	業界の新発見	2(160)	1.3	明治28年	7月5日	その他の記事	3(26)	11.5
明治43年	1月3日	アビ`ヤナトの一節	2(122)	1.6	明治38年	10月6日	その他の記事	2(17)	11.8
明治28年	4月5日	雑報	2(74)	2.7	明治33年	4月2日	富士の牧狩	2(16)	12.5
明治28年	7月5日	商況	0(3)	3	明治38年	4月3日	社告	1(8)	12.5
明治38年	1月6日	その他の記事	2(55)	3.6	明治43年	4月8日	米商	1(8)	12.5
明治43年	10月3日	その他の記事	1(28)	3.6	明治43年	10月7日	よみうり抄	1(8)	12.5
明治43年	10月7日	その他の記事	1(28)	3.6	明治23年	7月11日	電報	6(47)	12.8
明治33年	1月5日	雑報	1(27)	3.7	明治33年	4月6日	その他の記事	2(15)	13.3
明治28年	4月5日	小説	2(49)	4.1	明治38年	10月6日	その他の記事	3(22)	13.6
明治28年	4月1日	小説	2(47)	4.3	明治33年	4月6日	家庭の教育	2(14)	14.3
明治33年	4月6日	雑報	1(21)	4.8	明治33年	7月2日	よみうり抄	2(14)	14.3
明治28年	1月11日	雑報	2(40)	5	明治38年	4月3日	倫敦電報	1(7)	14.3
明治38年	1月2日	その他の記事	2(40)	5	明治38年	7月7日	その他の記事	1(7)	14.3
明治38年	10月2日	その他の記事	1(20)	5	明治38年	10月6日	その他の記事	1(7)	14.3
明治23年	4月11日	電報	2(39)	5.1	明治28年	4月5日	雑報	5(34)	14.7
明治28年	1月7日	雑報	2(38)	5.3	明治28年	10月11日	雑報	3(20)	15
明治28年	1月11日	小説	1(19)	5.3	明治33年	1月1日	雑報	5(33)	15.2
明治23年	7月7日	電報	1(18)	5.6	明治23年	7月11日	読売新聞	2(13)	15.4
明治43年	7月4日	その他の記事	2(35)	5.7	明治43年	7月4日	舊藩と新人物	5(32)	15.6
明治43年	4月4日	内地電報	1(17)	5.9	明治33年	4月6日	よみうり抄	3(19)	15.8
明治28年	7月5日	その他の記事	1(16)	6.3	明治23年	1月10日	相場	1(6)	16.7
明治33年	10月5日	雑報	1(16)	6.3	明治33年	1月1日	家庭の教育	4(24)	16.7
明治38年	1月2日	梅花	3(47)	6.4	明治33年	10月1日	その他の記事	2(12)	16.7
明治43年	7月4日	その他の記事	3(46)	6.5	明治33年	10月5日	海外経済界	1(6)	16.7
明治43年	7月15日	論議	1(15)	6.7	明治38年	10月6日	よみうり抄	1(6)	16.7
明治33年	7月6日	雑報	4(59)	6.8	明治43年	1月7日	米高雑談	1(6)	16.7
明治43年	7月8日	その他の記事	3(43)	7	明治43年	4月8日	舊藩と新人物	5(30)	16.7
明治38年	4月3日	豫告	1(14)	7.1	明治43年	7月8日	倫敦電報	1(6)	16.7
明治43年	7月8日	舊藩と新人物	2(27)	7.4	明治43年	10月7日	米商	1(6)	16.7
明治23年	1月10日	電報	1(13)	7.7	明治23年	4月7日	読売新聞	4(23)	17.4
明治43年	10月7日	現代美術論	1(13)	7.7	明治28年	7月5日	笛吹川	4(22)	18.2
明治28年	10月7日	雑報	1(12)	8.3	明治33年	7月2日	雑報	9(49)	18.4
明治38年	7月7日	その他の記事	1(12)	8.3	明治43年	4月4日	その他の記事	8(43)	18.6
明治43年	7月8日	その他の記事	3(36)	8.3	明治38年	4月3日	その他の記事	3(16)	18.8
明治28年	4月1日	雑報	6(71)	8.5	明治38年	4月3日	その他の記事	4(21)	19
明治43年	4月8日	その他の記事	3(35)	8.6	明治38年	4月7日	その他の記事	4(21)	19
明治28年	1月7日	小説	2(23)	8.7	明治28年	7月5日	その他の記事	1(20)	20
明治28年	7月5日	雑報	1(11)	9.1	明治33年	7月2日	雑報	4(20)	20
明治33年	7月6日	その他の記事	2(22)	9.1	明治33年	7月6日	その他の記事	2(10)	20
明治38年	10月2日	昨日の新聞雑談	1(11)	9.1	明治33年	10月5日	市政雑事	1(5)	20
明治43年	10月7日	株	1(11)	9.1	明治38年	4月7日	その他の記事	3(15)	20
明治33年	7月6日	商況	1(10)	10	明治38年	7月3日	教界月旦	1(5)	20
明治38年	10月2日	社会主義評論	1(10)	10	明治43年	1月3日	葉書集	1(5)	20
明治38年	4月7日	そぞろ事	2(19)	10.5	明治43年	7月8日	よみうり抄	1(5)	20
明治33年	1月1日	その他の記事	1(9)	11.1	明治43年	10月7日	伯林電報	1(5)	20
明治43年	1月3日	その他の記事	1(9)	11.1					

表Ⅲ② 標準語 使用率60%以上

年度	月日	小見出し	文末	使用率	年度	月日	小見出し	文末	使用率
明治33年	1月1日	一月一日	4 (5)	80	明治38年	7月3日	大統領邸に招かれる	3 (3)	100
明治38年	10月6日	一口嚙	6 (8)	75	明治38年	1月2日	橘英雄	24 (29)	82.8
明治33年	1月5日	二十世紀の法律	5 (5)	100	明治38年	1月6日	橘英雄	8 (10)	80
明治38年	7月7日	五面談義	6 (9)	66.7	明治38年	1月2日	地価修正	5 (6)	83.3
明治38年	1月6日	八面観	6 (7)	85.7	明治33年	7月6日	茶ばなし	7 (7)	100
明治38年	1月2日	八面観	12 (19)	63.2	明治33年	7月2日	茶ばなし	11 (12)	91.7
明治28年	10月11日	青葡萄	29 (29)	100	明治33年	10月1日	茶ばなし	19 (24)	79.2
明治28年	10月7日	青葡萄	28 (35)	80	明治33年	1月5日	茶ばなし	6 (8)	75
明治43年	1月3日	赤穂義士	1 (1)	100	明治43年	7月8日	佃島と月島	4 (5)	80
明治43年	1月7日	赤穂義主義	1 (1)	100	明治43年	1月7日	田園の趣味	17 (19)	89.5
明治43年	4月8日	赤穂義主義	1 (1)	100	明治33年	1月1日	當撰小説	30 (32)	93.8
明治43年	10月3日	足あと	40 (40)	100	明治43年	1月7日	渡世修行	1 (1)	100
明治43年	10月7日	足あと	34 (39)	87.2	明治38年	4月3日	隣の噂	5 (5)	100
明治43年	4月8日	家	33 (34)	97.1	明治38年	7月7日	隣の噂	4 (4)	100
明治43年	1月3日	家	42 (45)	93.3	明治43年	1月3日	隣の噂	5 (5)	100
明治43年	4月4日	家	29 (32)	90.6	明治43年	7月4日	隣の噂	6 (6)	100
明治43年	1月7日	家	35 (42)	83.3	明治38年	7月3日	隣の噂	5 (6)	83.3
明治33年	4月2日	梅若大祭能評	1 (1)	100	明治38年	10月6日	隣の噂	3 (4)	75
明治38年	1月2日	欧文小説	2 (2)	100	明治43年	1月7日	隣の噂	3 (4)	75
明治38年	4月7日	欧文小説	3 (4)	75	明治43年	4月8日	隣の噂	3 (5)	60
明治43年	4月8日	お伽脚本小公子	42 (42)	100	明治33年	7月2日	夏の花束	5 (8)	62.5
明治33年	10月1日	思いつき	10 (10)	100	明治43年	1月3日	南極探検の話	36 (37)	97.3
明治33年	10月5日	思いつき	10 (10)	100	明治43年	7月8日	俳句と川柳	1 (1)	100
明治43年	1月3日	確的と玩賞の評価	41 (52)	78.8	明治33年	4月6日	葉書集	7 (7)	100
明治43年	1月3日	歌人の品定め	1 (1)	100	明治33年	10月1日	葉書集	9 (9)	100
明治43年	10月7日	家庭	7 (7)	100	明治33年	1月5日	葉書集	5 (6)	83.3
明治43年	1月7日	株式雑談	7 (8)	87.5	明治33年	1月1日	葉書集	9 (11)	81.8
明治33年	4月6日	寒牡丹	26 (28)	92.9	明治38年	7月7日	葉書集	4 (5)	80
明治33年	1月5日	寒牡丹	27 (33)	81.8	明治33年	7月6日	葉書集	6 (8)	75
明治33年	1月1日	寒牡丹	13 (19)	68.4	明治33年	4月2日	葉書集	5 (7)	71.4
明治38年	1月6日	奇人百種	6 (6)	100	明治43年	7月8日	葉書集	5 (7)	71.4
明治38年	4月7日	奇人百種	1 (1)	100	明治38年	10月6日	葉書集	4 (6)	66.7
明治43年	4月8日	教育満五語	14 (14)	100	明治43年	1月7日	葉書集	3 (5)	60
明治43年	1月3日	教育問題の任務	31 (39)	79.5	明治33年	7月2日	峠江紀行	2 (2)	100
明治33年	10月5日	雲のゆくえ	46 (46)	100	明治43年	1月3日	初春の渡し船	45 (58)	77.6
明治43年	1月7日	決闘	35 (38)	92.1	明治38年	1月2日	初日の出	52 (57)	91.2
明治33年	1月5日	口演百譚	1 (1)	100	明治43年	7月8日	はなしだね	13 (14)	92.9
明治33年	7月2日	口演百譚	1 (1)	100	明治43年	4月8日	春のカマカ	9 (11)	81.8
明治43年	10月7日	今月の雑誌	2 (2)	100	明治38年	10月2日	人の心	8 (9)	88.9
明治43年	1月7日	雑誌摘録	3 (3)	100	明治43年	7月4日	武士道銘々傳	1 (1)	100
明治43年	1月3日	薩摩年人と土風	4 (4)	100	明治43年	7月8日	武士道銘々傳	1 (1)	100
明治43年	7月8日	自転車番號	1 (1)	100	明治43年	7月4日	婦人一一生中に...	4 (6)	66.7
明治28年	1月11日	社告	2 (2)	100	明治43年	1月3日	ふたつの心	28 (28)	100
明治38年	4月7日	社告	9 (10)	90	明治43年	1月7日	文学百方面	35 (36)	97.2
明治43年	4月8日	宗教界	17 (17)	100	明治43年	10月7日	文芸百方面	22 (24)	91.7
明治43年	7月8日	宗教界	7 (8)	87.5	明治38年	4月3日	へなぶり	2 (2)	100
明治43年	10月7日	趣味	21 (24)	87.5	明治43年	1月7日	編輯日記	1 (1)	100
明治43年	7月8日	趣味の消息	11 (11)	100	明治38年	1月6日	編輯日誌	2 (2)	100
明治38年	7月7日	小供の新聞	10 (11)	90.9	明治38年	7月3日	編集日誌	1 (1)	100
明治38年	7月3日	小供の新聞	5 (8)	62.5	明治38年	10月2日	編集日誌	1 (1)	100
明治43年	1月7日	小品文	19 (19)	100	明治43年	1月3日	編集日誌	1 (1)	100
明治43年	7月8日	小品文	7 (7)	100	明治38年	1月2日	編集日誌	2 (3)	66.7
明治38年	4月3日	喰せもの	10 (11)	90.9	明治43年	1月3日	本年の農作	17 (21)	81
明治43年	1月3日	女子大学生生活	1 (1)	100	明治43年	7月8日	松麗齋仙女	5 (7)	71.4
明治43年	4月8日	人格	14 (14)	100	明治43年	1月7日	満州の仙境	2 (2)	100
明治38年	7月3日	すずみ壺	1 (1)	100	明治43年	7月4日	三田	6 (6)	100
明治43年	1月7日	正米	1 (1)	100	明治38年	1月2日	巳年の玩具	5 (5)	100
明治38年	7月3日	青春	21 (21)	100	明治43年	7月4日	木像	19 (19)	100
明治38年	10月2日	青春	12 (12)	100	明治43年	7月8日	木像	25 (25)	100
明治38年	4月3日	青春	15 (16)	93.8	明治33年	4月2日	湯ばなし	5 (6)	83.3
明治38年	4月7日	青春	26 (32)	81.3	明治33年	7月6日	夢の夢	30 (30)	100
明治38年	1月6日	その他の記事	2 (2)	100	明治33年	7月2日	夢の夢	16 (18)	88.9
明治43年	1月3日	その他の記事	22 (22)	100	明治43年	10月3日	両班と儒生	8 (10)	80
明治33年	10月5日	その他の記事	2 (3)	66.7	明治43年	10月3日	論議	4 (6)	66.7
明治38年	7月7日	その他の記事	8 (13)	61.5	明治33年	10月1日	論説	1 (1)	100
明治33年	10月1日	その他の記事	3 (5)	60	明治38年	1月2日	倫敦電報	2 (2)	100

表Ⅳ 「小説の文末表現」

年度	月日	小見出し	文末	使用率 (%)
明治28年	1月7日	小説	2(23)	8.7
明治28年	1月7日	小説	0(3)	0
明治28年	1月11日	小説	1(19)	5.3
明治28年	1月11日	小説	0(5)	0
明治28年	4月1日	小説	2(47)	4.3
明治28年	4月5日	小説	2(49)	4.1
明治28年	7月1日	戦時小説	5(16)	31.3
明治28年	7月5日	笛吹川	4(22)	18.2
明治28年	7月5日	戦時小説	3(8)	37.5
明治28年	10月7日	青葡萄	28(35)	80
明治28年	10月11日	青葡萄	29(29)	100
明治33年	7月2日	夢の夢	16(18)	88.9
平均値				26.30
明治33年	7月6日	夢の夢	30(30)	100
明治33年	10月1日	思いつき	10(10)	100
明治33年	10月5日	思いつき	10(10)	100
明治33年	1月1日	寒牡丹	13(19)	68.4
明治33年	1月5日	寒牡丹	27(33)	81.8
明治33年	4月6日	寒牡丹	26(28)	92.9
明治33年	10月5日	雲のゆくえ	46(46)	100
明治33年	1月1日	當撰小説	30(32)	93.8
明治33年	7月2日	夏の花束	5(8)	62.5
明治33年	10月5日	七首	16(28)	57.1
平均値				80.97
明治38年	1月2日	欧文小説	2(2)	100
明治38年	1月6日	欧文小説	0(1)	0
明治38年	4月3日	欧文小説	0(3)	0
明治38年	4月7日	欧文小説	3(4)	75
明治38年	7月7日	欧文小説	0(3)	0
明治38年	4月3日	青春	15(16)	93.8
明治38年	4月7日	青春	26(32)	81.3
明治38年	7月3日	青春	21(21)	100
明治38年	7月7日	青春	5(16)	31.3
明治38年	10月2日	青春	12(12)	100
明治38年	1月2日	橘英雄	24(29)	82.8
明治38年	1月6日	橘英雄	8(10)	80
明治38年	1月2日	初日の出	52(57)	91.2
明治38年	10月6日	人の心	5(13)	38.5
平均値				62.42
明治43年	10月3日	足あと	40(40)	100
明治43年	10月7日	足あと	34(39)	87.2
明治43年	1月3日	決闘	1(3)	33.3
明治43年	1月7日	決闘	35(38)	92.1
明治43年	7月4日	木像	19(19)	100
明治43年	7月8日	木像	25(25)	100
明治43年	1月3日	家	42(45)	93.3
明治43年	1月7日	家	35(42)	83.3
明治43年	4月4日	家	29(32)	90.6
明治43年	4月8日	家	33(34)	97.1
明治43年	1月3日	初春の渡し船	45(58)	77.6
明治43年	1月7日	文学百方面	35(36)	97.2
明治43年	7月4日	三田	6(6)	100
平均値				88.59

4.

これまで『読売新聞』を主に扱ってきたが、『朝日新聞』の小見出し欄についても併せて調査を行っているが、ここでは頁数の関係もあるため、詳しい考察は次の機会とし、本稿では簡単にその調査結果をまとめ示しておく事にする。

『朝日新聞』は明治12年より大阪で発行され、後に明治21年から東京版が発行されることとなった代表的な小新聞である。これまでと同様に『朝日新聞』の小見出し欄がどのように変遷してきたかを明らかにするために、明治21・26・30・35・37・40・43・45年の東京版『朝日新聞』の記事を調査し、各年代で頻繁に使われる小見出し欄を抜き出し、その使用状況等をまとめた。その結果は、下記の通りである。

明治21年：社告、社説、電報、雑報、寄書、官令、告広で構成されており、社説、電報、雑報、広告の登場頻度が高く、特に電報、雑報、広告はほぼ全ての記事について確認できた。また、小見出し欄の並び方も社説、電報、雑報、広告の順で安定している。

明治26年：小見出し欄についての状況は明治21年の記事と似通っている。しかし、明治21年時には見られなかった小見出し欄もいくつか登場するようになる。ただし、その登場頻度は高くない。

明治30年：小見出し欄の構成は、明治21年や26年と似通っている。ただし、小見出し欄の後でトピックが示されるようになった。

明治35年：小見出し欄の構成が大きく変化しており、社説や雑報がなくなり、内圃電報、路透電報、～特電（～の部分は場所の地名などが入る）といった小見出し欄が登場した。

明治37年：明治35年と大きな変化はない。特電で扱う地域の種類が増えた。

明治40年：銀行や株の話題といった経済的な記事が増えている。小見出し欄の作られ方は明治37年と変わらない。

明治43年：小見出し欄の作り方は明治37年とあまり変わらないが文芸欄、新聞界、今日の書面といった小見出し欄が登場している。

明治45年：レイアウトにこだわるようになった。しかし電報と特電を中心につくられているのは変わらない。文芸欄、新聞界、今日の書面といった小見出し欄は見当たらなくなった。

5.

本稿では、『読売新聞』を主に扱い、文末表現を中心に考察を行って来たが、調査年度や小見出し欄等を限定しているので、用例数が不十分なものもあるため、今後更に各新聞を調査する必要があると考えるが、明治期の『読売新聞』の小見出し欄における表記の変遷は明らかに出来たと考える。また、小説の表記についても、新聞に掲載されたものでない他の小説と同じように新聞に掲載の小説もまた、比較的早い時期から言文一致が始まり、新聞の表記には影響されること

なく、口語化していたことが明らかになった。これに対し新聞の表記は、小説や国定教科書よりも、更に口語化は遅れていることが明確となった。原因は、新聞は公的立場の側面を持つものであるため、当時の政治や社会情勢、更には当時の公文書が文語体であったことなども影響していると思われる。したがって新聞の表記が標準語化し、言文一致体となるのは大正期以降になり、これについては今後の研究課題とする。

引用／参考文献

- (1) 杉崎夏夫（2017）武蔵野大学研究紀要 『武蔵野教育学論集』第2号
- (2) 国立国語研究所編（1997）『国定読本用語総覧第12巻』三省堂
 - ・下中邦彦（1965）『日本語の歴史全8巻6 新しい国語の歩み』平凡社
 - ・佐藤喜代治編（1977）『国語学研究事典』明治書院
 - ・飛田良文編（2007）『日本語学研究事典』明治書院
 - ・飛田良文（2004）『国語論究11 言文一致運動』明治書院
 - ・町田徳之助（1964）「近代化」とは何か 社会科学討究, 第10巻 第1号 早稲田大学社会学研究所
 - ・遠藤咲子（1981）『明治時代語の研究 語彙と文章』明治書院
 - ・劉方（2010）「可能動詞の変遷について」『国語・国文と国語教育第17号』
 - ・山口仲美（2006）『日本語の歴史』岩波新書
 - ・小野寺奏子（2010）「戦後秋田県西成瀬小学校における標準語教育の史的展開（自由研究発表）全国大学国語教育学会発表要旨集119 全国大学国語教育学会
 - ・飯田晴巳（2002）『明治を生きる群象 近代日本語の成立』おうふう
 - ・京極興一（1998）『近代日本語の研究 一表記と表現一』東宛社
 - ・鈴木義里（2004）『つくられた日本語、言語という虚構』右文書院